

大淀川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和6年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- メディアと防災気象情報について勉強会を実施(2回14機関)
- 各機関との防災訓練(5回)
- 流域イベントで、流域治水をPR(4回)
- 防災イベントによる啓発活動

教育活動

- 防災士ネットワーク、河川協力団体と協同で防災教育に関する出前講座を実施(1回:国)
- 河川協力団体と協同で流域治水に関するシンポジウムを開催(2回:国)
- 防災教育・流域治水の啓発に関する出前講座を実施(国)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施

水防活動の支援

- 防災士、地域防災リーダー等の育成

水災害対策の支援

- 避難施設等の設備更新
- 避難場所・避難路を避難確保計画に位置付け
- 避難所運営マニュアルの整備

リスク情報等の提供

- 水防情報図の市町村への配布(2市2町:国)
- 洪水ハザードマップ改訂
- 雨水出水浸水想定区域、計画降雨浸水防止区域図の作成(宮崎市、都城市)
- ワンコイン浸水センサの実証実験(宮崎市、都城市、国富町、綾町)
- 防災無線、防災ラジオ等による情報伝達

流域治水の広報

- ラジオ(1回2局)、新聞(1紙)、CATV(1回)でハザードマップや防災訓練、マイタイムライン等に関する啓発活動を実施
- 市長報等で流域治水の広報

計画策定

- 立地適正化計画の作成・見直し
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動
中心

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育
活動中心

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組めるよう、個人、企業・団体の行動を誘発して

計画策定や具体
行動の支援中心

#2 大淀川水系流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		● ●	ラジオや新聞で防災情報を啓発	
	◎連携活動 地域 個人	● ●	●	● ●	各機関との防災訓練
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	水防情報図の配布、洪水ハザードマップの改訂、雨水出水浸水想定区域図の作成			
		防災無線、防災ラジオによる情報伝達			
		ワンコイン浸水センサの実証実験			
	◎教育活動 地域 個人	● ●	● ●	● ● ● ●	●
◎訓練活動 地域 個人			●	河川協力団体と共同でシンポジウム開催	
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進、立地適正化計画の作成・見直し			
	◎水災害対策の支援 個人	避難施設等の設備更新			
		避難場所・避難路を避難確保計画に位置付け、避難所運営マニュアルの整備			
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	防災士、地域防災リーダーの育成				